

2010年11月1日

米粉100%のシュークリーム



(株)美松と白藤プロジェクトとの初コラボ
10時の販売開始前に200名以上が行列
第一日は予想を超える大成功！！

モンペに割ぼう着。あまりに似合いすぎ。



行列は途切れることなく…。長岡市民は我慢強い。お待たせして申し訳ありません。

○**2万個の米粉シュークリームがわずか3時間で売り切れ!**○

早朝の6時から(株)美松の工場は「米粉シュークリーム39フェア」に向けてフル回転。白藤プロジェクトの矢島幸(4年)、鈴木明日実(4年)、竹野友未(3年)も戦場のような工場のように、ただただびっくり仰天。生菓子製造現場の大変さを体験!

今回の「米粉シュークリーム39フェア」は初めての試みで、直前まで長岡市民に全く知られていませんでした。2万個のシュークリームの売れ残りを心配していました。

しかししかし、蓋を開けてみれば開店前にはすでに200名以上のお客様が大行列。開店と同時にお客様が雪崩れ込み、わずか1時間足らずで第一便の7000個の米粉シュークリームが品切れ。11時を過ぎても130名以上の行列が続きました。学生も無我夢中で販売を手伝いました。

平日の昼は人通りがまばらな長岡大手通に人の行列と活気。米粉の魅力が長岡の人々に理解され米粉文化が根づく第一歩となればと願います。



美松の松井社長と商品開発のアイデアをぶつけ合う学生。熱のこもった議論から新しい商品を創造する!

○「小学館大学は美味しい!!フェア」を目指す○

米粉フェア前日、学生と松井社長が商品開発に向けて長時間の議論を闘わせました。学生の奇抜なアイデアに松井社長もびっくり。改めて消費を引っ張る若い女性の感性と食に対する情熱に感心。この学生の想いを新たな商品開発の源泉となるでしょう。

11月12日、うおぬま会議 2010 の「アレルギー商品のブラッシュアップ会議」でもコラボ商品を発表します。

これからも白藤プロジェクト進化はします。